

学年	高校3年	教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2
教科書名		書Ⅱ（光村図書）		副教材名	なし		
コース・クラス		スポーツ、芸能					

#### 1. 目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

#### 2. 授業のねらい

- (1) 書体、書風、意図に即した適切な用具・用材の選択力を身に付ける。
- (2) 臨書と鑑賞を通して表現を工夫し、個性的な表現ができるようにする。
- (3) 表現形式に応じて全体構成ができるようにする。
- (4) 書の美の諸要素を把握し、その表現効果について理解し、感受性を深める。
- (5) 書の美と時代、風土、筆者などのかかわり、その表現方法や形式等について理解を深める。
- (6) 日本及び中国等の書の歴史・文化と書の現代的意義について理解を深める。

#### 3. 授業の進め方

- (1) 書の知識と実技について、全体説明と個人指導を行う。
- (2) 古典臨書を基にした創作を適宜行う。
- (3) 実用書、硬筆の練習を適宜行う。

#### 4. 学習上の留意点

- (1) 用具用材を持参し、授業を受けること。
- (2) 用具用材の管理、備品や設備を適切に使うこと。
- (3) 提出物は必ず出すこと。
- (4) 表現されたものの特性や歴史的位置づけに関心を持ち、幅広い書の美を理解し、自己表現に役立つようにする。

#### 5. 定期試験

- ・定期試験期間の試験は実施せず、各単元終了時に実技テストを実施する。

#### 6. 評価方法

- ・授業内での提出作品、単元ごとの実技テストによる評価、忘れ物、授業態度など。

## 7. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標	
一学期	4	ガイダンス 篆書	作品提出 実技テスト 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆書や隸書が書かれた時代背景や造形の特徴を知り、適切な筆法で書くことができる。</li> <li>表現効果を考えて運筆、墨量、線質を調整し、作品として仕上げるができる。</li> <li>隸書の学習を生かして楷書を書くことができる。</li> </ul>	
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本用筆</li> <li>「泰山刻石」の臨書</li> <li>「小臣觶犧尊」の臨書</li> <li>「甲骨文」の臨書</li> </ul>			
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>実技テスト</li> </ul> 隸書			
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本用筆</li> <li>「乙瑛碑」の臨書</li> <li>「曹全碑」の臨書</li> <li>実技テスト</li> </ul> 楷書 「美人董氏墓誌銘」			
二学期	9	行書 <ul style="list-style-type: none"> <li>「争坐位文稿」の臨書</li> <li>「喪乱帖」の臨書</li> <li>「松風閣詩卷」の臨書</li> </ul> 創作	作品提出 実技テスト 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>行書の基本的な筆法を踏まえて、多彩な表現の書を臨書することができる。</li> <li>これまでの学習を踏まえて創作することができる。</li> <li>細字の学習を通して小筆に慣れ、日常生活に取り入れることができる。</li> </ul>	
	10				
	11	細字の学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>写経「般若心経」</li> </ul>			
	12				

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。